

議会が改革の決意表明

「わたしの意見」をふまえ町に6項目の申し入れ

3月定例会は、3月2日から9日間の会期で行われました。町長施政方針演述のほか、一般質問は2名の議員が行いました。最終日には、議会が「協働のまちづくりと行財政改革に関する決議」を可決し、議会の意思表示と町に対する申し入れを行いました。そのほか、平成18年度当初予算等が審議され、提案された議案は全て可決されました。



「わたしの意見」全てに議員が目を通しました

議会は、3月定例会で、協働のまちづくりと行財政改革の推進に関する決議を可決しました。
これは、町長が示した「協働のまちづくり」と「行財政改革」に賛同し、町と協力して取り組む決意表明です。同時に改革にあたり留意を求める点を、次のとおり町に申し入れました。
取り組み内容の住民理解に努め、迅速化を図ること。
自立を目指す改革と同時に市町村合併の研究を行うこと。
町有財産の処分など自主財源の確保に努めること。

増税など住民負担を伴う改革は最小限にすること。
第三セクターの完全民営化を検討すること。
職員数の削減などで住民サービスを低下させないこと。
この内容は、2月に行った「わたしの意見」で、町民の皆さんから寄せられた意見も踏まえています。（決議の全文は7ページに掲載します。）
議会では、町に申し入れただけではなく、これらの課題に議会としても継続して調査・研究し、最大限の成果が現れるように努めます。

議員・職員など 人件費3.5%削減

議会では、町財政の健全化のため前年度に引き続き平成18年度も議員報酬を月額2千円、政務調査費を月額1万円全額削減します。これにより、議会費では年間約230万円の経費削減となります。
また、町長、助役、教育長及び職員も給与の減額改定を行います。議会も含め、町の平成18年度の人件費は、前年度より約4千500万円（3.5%）の減となる見通しです。

特集

町民の声を届けたい！ 「わたしの意見」集計結果

176件の意見届く
住民の関心強く

2月24日までに、176件の「わたしの意見」が議会に寄せられました。身近な問題から、市町村合併、財政問題など幅広い意見をいただき、

まちづくりに対する住民の関心の強さを感じました。

協働への意欲と不安
高齢者の参加難しく

協働のまちづくりや行財政改革について、「町に補助金を求めず自分たちでやってみては」「除草や清掃など地域ができることは地域で」という意欲的な意見がありました。一方、「税金などを引き上げる前に滞納の回収を」と税負担の公平性を求める意見も目立ちました。

また、高齢社会の課題が表面化し、「協働は賛成だが、高齢者が多く奉仕活動には限界がある」「年をとり農業が続けられなくなってきた」「頼れる家族がなく年金生活で心細い」など、不安を訴える声がありました。

少子化の問題は町の重要課題です

「協働のまちづくり」では、

地域住民の労働力としての協力も求めています。高齢者が無理なく参加できる体制を検討する必要があります。

また、学童保育の拡大や葛巻高校の存続を願う声もあり、幅広い年代から、もつと子供たちにお金をかけて、という意見がありました。議会では今後さらに調査、研究を進めていきます。

少子化と足確保策 特別委員会を設置

多くの意見の中から、特に重要かつ早期対策が必要と思われる「少子化問題」と「バス交通問題」について、議会は特別委員会を設置して集中的に調査を進めることにしました。

少子化対策特別委員会（柴田勇雄委員長、鈴木満副委員長）では、出生数の減少対策と併せて、子育て支援や後継者問題も検討し

ていきます。
バス交通対策特別委員会（山岸はる美委員長、遠藤勝昭副委員長）では、地域や利用者特定せず、路線バス、通院バス、スクールバスなど総合的な住民の足確保策を検討していきます。

議会に叱咤激励 重く受け止める

議会に対しても多くの意見をいただきました。議員定数を10人に削減したことを評価する声が多く、温かい激励の言葉もいただきました。一方、大変厳しい意見もありました。特に、議員の研修や活動について、住民理解が十分に得られていないことが分かり、重く受け止めています。

議会では今後、議員活動の目的や趣旨をより明確に住民に示すとともに、かかった費用なども情報公開していきたいと考えています。

